

西川ゴム工業株式会社SDGs宣言

2026年5月16日（土）

「ひろしま海の森づくりプロジェクト」親子で体験 干潟の再生活動！

2026年5月16日（土），「ひろしま海の森づくりプロジェクト」の一環として、井口港・八幡川河口にて「親子で体験 干潟の再生活動」が開催されました。本活動は井口漁業協同組合様のご協力のもと、当社8名を含む約70名の親子連れが参加しました。

海を守る 漁業を守る

イベントの冒頭では、日頃からあさりやワカメ等の保護活動に取り組まれている井口漁業協同組合の波田組合長よりプレゼンテーションがありました。

近年の魚離れや魚価の低下、漁獲量の減少、漁業従事者の減少といった課題に対し、あさりやワカメ等の保護を通じて海洋資源を再生し「海を守る」こと、さらに地域社会への発信により漁業への関心を高め「漁業を守る」ことの重要性についてお話しいただき、本活動の意義を改めて実感しました。

干潟で体験！

チヌやエイによる食害を防ぐため、干潟のあさりには防護ネットが設置されています。防護ネットは、海藻やカキが付着すると酸欠を引き起こすため、定期的に張り替えや砂を掘り、耕すことが必要となります。

子どもたちはぬかるんだ干潟に足を取られながらも、一生懸命あさを掘り、時折現れるカニに驚きつつ、夢中で作業に取り組んでいました。自然に触れる貴重な体験は、子どもたちの心に残るものとなったと感じます。

地元高校生の活動紹介

瀬戸内の海洋保全に関する研究を行っている広島県立広島井口高等学校の生徒の皆さんより、広島で問題となったカキの大量死に関する研究や、ニューヨークで実施されているカキを活用した水質改善の取り組みについて紹介がありました。また、「なぜ海洋保全活動をしているのか」という参加者からの質問に対し、「海が好きだから」と答える姿が印象的でした。海を知り、地元を愛する気持ちが、こうした取り組みの原動力になっているのではないかと思います。

当社はこれからも、「ひろしま海の森づくりプロジェクト」への継続的な参加を通じて、地域の海づくりと環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。



防護ネットの張り替え作業風景



あさりを掘っています



最後に おいしく頂きました

～西川ゴムからの参加者の声～

あさりをそでてるためには、みんなに
多くの方が海のカメを守っていて
大へんだなと思った。つぎに来たときも
きつをまもるためにかんばりたい。